

ブロック名：神経・脳外(ブロック③)

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
5.22	火	I	脳神経外科総説	田中 雄一郎	脳神経外科	神経系疾患の外科的治療とその歴史を説明できる。	特になし
"	"	II	脳腫瘍（髄内腫瘍）	吉田 泰之	脳神経外科	脳腫瘍総論・主に悪性脳腫瘍の分類と好発部位、病態、集学的治療について説明できる。	教科書、参考図書を該当項目の予習すること。
"	"	III	脳腫瘍（髄外腫瘍）・神経皮膚症候群	長島 悟郎	脳神経外科	良性脳腫瘍の分類と好発部位、病態、神経皮膚症候群について説明できる。	"
5.23	水	I	頭部外傷	小野 元	脳神経外科	頭部外傷の分類・診断・代表的な症候について説明できる。	"
"	"	II	意識障害・頭蓋内圧と脳ヘルニア	大塩 恒太郎	脳神経外科	意識状態の判定、障害の評価、急性・慢性頭蓋内圧亢進、脳ヘルニアについて説明できる。	"
"	"	III	脊髄の解剖と症候・疾患	中村 歩希	脳神経外科	脊髄の正常解剖と症候、腫瘍、血管障害について説明できる。	"
5.24	木	I	脳外科疾患の画像診断	小野寺 英孝	脳神経外科	正常な頭部CT、MRI で確認できる構造物、DSAに基づく血管解剖の理解。脳外科疾患、病態の画像診断について説明できる。（出血、梗塞、腫瘍、膿瘍、浮腫など診断のKeyになる画像診断の理解。）	"
"	"	II	脳血管障害（I）	森嶋 啓之	脳神経外科	虚血性脳血管障害の病態、症候、診断治療について説明できる。（脳梗塞、経皮的血栓除去、CEA、CAS、バイパス術）	"
"	"	III	脳血管障害（II）	榊原 陽太郎	脳神経外科	出血性脳血管障害の病態、症候、診断治療について説明できる。（SAH、解離性脳動脈瘤、脳出血 特に手術適応について）	"
5.25	金	I	脳血管障害（III）	伊藤 英道	脳神経外科	出血性脳血管障害の病態、症候、診断治療について説明できる。（AVM、dAVF、もやもや病など）	"
"	"	II	水頭症と先天奇形	高砂 浩史	脳神経外科	水頭症の種類、症候診断、代表的な中枢神経奇形について説明できる。	"
"	"	III	てんかんと機能的疾患	太組 一朗	脳神経外科	てんかんの分類、診断と治療を説明できる。	"